

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「プロポーズから始めよう。」

テーマ：「魔王からプロポーズされているのに、全く意に介さない少女」

キャラクター

60

ストーリー

55

テーマ(設定)

60

文章力

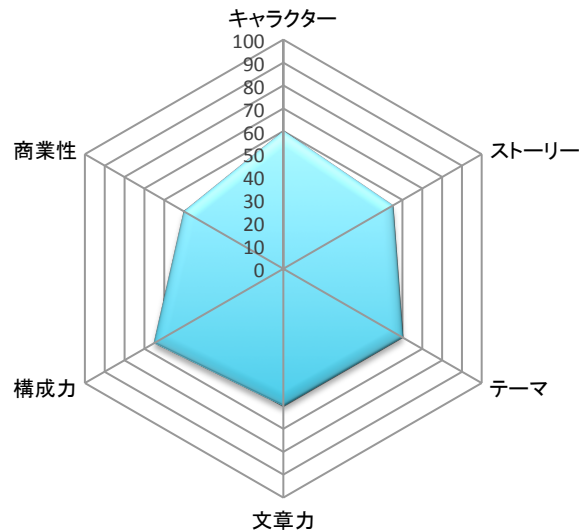
60

構成力

65

商業性

50



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・美女と魔王がテーマである中申し訳ないが、下僕が一番面白かった。魔王とのやり取りが非常に読んで面白く、こっちが面白過ぎるせいで少女のキャラが隠れちゃう。いっそ美少女テーマはヒロインではなく下僕の方で使えばライトノベル的な面白さとシリアスのより調和のとれた融合ができたのではないかと? (魔王のことがちょっと好きなのに、魔王のプロポーズ作戦に協力せざるを得ない下僕美少女)など。あと総理大臣という役職は現実的なもので、魔王補佐や魔法省大臣の名前の役職をおすすめする)

・空行が多過ぎると思われる。空行にはその物語の流れに一つの間を生み出すという演出効果があるが、本来その演出は空行ではなく文字で表現されるべきなのが小説である。(もちろん全く使わないと読みにくい作品になってしまうため所々は使うとして、)その間をどう文字で表現していくかを試行錯誤の方が結果的に作者様の表現力の向上にも繋がるため、なるべく空行は使わないことを推奨する。

・商業的側面から、シリアス:ギャグ=5:5の割合で融合された作品は受けにくい。もっぱら受けるのは、ほとんどギャグ・コメディで、最初にちょっとシリアス系感動が入る9:1型か、終始シリアスだがたまにほんの少しだけギャグが入ってギャグ的な笑いをとる1:9型であるように思われる。(個人的経験としては、10:0も0:10もあまり売れない) この点を意識して、シリアスがギャグのどちらかに強く重心を置くことを推奨する。

合計加点ポイント 0

総得点: 350 / 600

B方式総合得点: 20417 点